

アジアから

## 新シリーズ 中国から



いつもお世話になります。

これまでも弊社の取り組みとしてインド・その他外国関係のこぼれ話をメールマガジンとして発行しておりましたが、このたびメールマガジン中国版も発行させていただくことと相成りました。

インド担当者ほどにハジけておりませんので、少々お堅い内容になるかもしれませんが、新商材の情報なども盛り込めればと考えておりますので、お付き合いいただけると幸いです。

さて、3月から4月にかけて気候の移り変わりが激しい日が続いておりましたが、お変わりありませんでしょうか？

私はと言いますと、新年度早々扁桃腺を腫らし、数日入院して寝込んでおりました。

日頃の不摂生のツケに少々お高い利子がついてしまい、各方面からお叱りをうけてしまったところで

その直前の三月末は年度末という事で、委託加工石種の在庫調べや情報収集のために福建に出張していました。その際に同行者S氏の用事で福州に立ち寄る機会があり、「ラーメンを食おう！」という同行の所長N氏の要望に従い、**康師傅**(カンシーフ、台湾メーカーですが中国でインスタント麺といえばカンシーフというくらい有名メーカーです)直営店でラーメンを食してきました。



私自身、中国にいた頃はしょっちゅうこのカンシーフのインスタント麺にお世話になっていたのですが、自信満々で「ここ美味いっすよ！」と言ってしまったのですが、結果は・・・  
所長N氏、同行者S氏に散々こき下ろされてしまいました（汗・・・）  
きしめん風の麺にあっさりスープ・・・ 味はさほど悪くないと思うのですが、サービスが全てを台無しにしています。来店も遅かったのですが、「コメもサイドメニューもドリンクももうないよ」とバッサリ切り捨てられた時には、さすがにカルチャーショックでした。  
個人経営の店じゃないんだから・・・

やはりラーメンは日本です。これは間違いなく本家中国を超えていると思います。

話が脱線してしまいましたが、本業のお話・・・ 私の体調とは裏腹に中国材は少々良さそうな話が出てきました。

夏ごろには中国大島系や中国黒の新しい掘り口など、丁場の状態が良ければご紹介させて頂けると思います。中国大島系、中国黒ともは近々丁場を訪問します。詳細はまた報告させて頂きます。

世間ではチャイナリスクが盛んに叫ばれていますが、依然として我々石材業者の「メシのタネ」であることに変わりはありません。

“中国でもう一踏ん張り” をテーマに精進して行く所存ですので、何卒ご最員のほど  
よろしく願い申し上げます。

HATTORI